2022 年 7 月 29 日

お客様本位の業務運営に関するこれまでの主な取組内容の公表について

今般、朝日ライフ アセットマネジメント株式会社（社長：山口　道男）は、「お客様本位の業務運営に関する基本方針」に基づく、2021 年度のお客様本位の業務運営に関するこれまでの主な取組内容について、別紙のとおり取りまとめましたので公表いたします。

今後とも、当社は、経営理念「クライアント・ファースト」のもと、同基本方針にしたがい、お客様の利益を第一に考え、長く信頼される資産運用会社となることをめざしてまいります。

2021 年度　お客様本位の業務運営に関するこれまでの主な取組内容

「お客様本位の業務運営に関する基本方針」に係るこれまでの主な取組内容および取組みに係る成果指標（KPI）について、以下のとおりご報告いたします。

１．お客様の最善の利益の追求

・当社は、経営理念である「クライアント・ファースト」のもと、専らお客様の利益のために業務運営を行っています。

２．利益相反の適切な管理

・「利益相反管理方針」に基づく管理を実施しました。

・2021 年 4 月 1 日付で社外の第三者が構成メンバーの過半を占める「責任投資監督委員会（第三者委員会）」を新設しました。当委員会は責任投資委員会において協議・決定された事項や議決権行使等に関し、利益相反防止の観点からそれらの妥当性を検証することにより、組織全体のガバナンス体制を強化するとともに、スチュワードシップ活動の運営全般にわたる実効性・透明性の向上を図っています。

・（利益相反管理先企業を含む）議決権行使については、当社の監査部門がガバナンス体制や個別の議決権行使判断の妥当性を事後検証し、取締役会に報告しました。

・当社又は朝日生命及びグループ会社と関係が深い「利益相反管理先企業」の議決権行使については、当社のコンプライアンス部門および責任投資監督委員会の委員が議決権行使ガイドラインに沿って適切に判断されているかを全件チェックしました。

３．運用報酬等の明確化

・商品開発にあたっては、投資信託における「運用報酬に関する基本的な考え方」を踏まえた運用報酬の設定を行っています。

・また、運用報酬の適正性については「商品開発委員会」の審議過程で検証しています。

４．重要な情報の分かりやすい提供

・商品の投資方針、リターンとリスク、取引条件等の重要な情報について、情報提供を行っています。なお、当社が想定するお客様の属性については、2021 年 12 月より販売会社が作成する重要情報シートへ情報提供を開始しました。

・お客様にお届けする各種資料（目論見書、運用レポート等）の作成にあたっては、平易な言葉や文章を用いるとともに、統一感のある記述を行い、情報の重要度に応じて書体や大きさを区別し、必要に応じて図表を活用するなど、分かりやすい情報提供に継続して取り組んでいます。

・販売会社向けのセミナーについては、ファンドの運用哲学・プロセスをご理解いただくため、お客様の視点を踏まえた平易な言葉や文章を用いたわかりやすい説明を行うことにつとめています。

・長期積立投資に関する情報提供については、お客様がイメージしやすいように、グラフの活用や見栄えなど、見やすさ、わかりやすさを追求した改善に取り組んでいます。
・運用情報部を新設し、資料品質の標準化（記載内容や各種データの充実、資料構成の分かり易さ・見易さの向上 等 ）に継続して取り組んでいます。

５．お客様にふさわしいサービスの提供

（1）商品・サービス

・公募投信では、グローバル株式運用プロダクトとして世界の成長株を厳選する商品である「ＷＣＭ　世界成長株厳選ファンド（資産成長型/予想分配金提示型）」を設定・運用開始しました。私募投信では、機関投資家をはじめとするお客様のニーズを捉えた商品の設定を行いました。
・お客様の資産形成に貢献する商品の開発に取り組み、お客様のニーズと利益に適う商品・サービスの提供につとめています。（【表１】参照）
・最近の受賞ファンドについては次のとおりです。

2019 年

◆ R&I ファンド大賞　iDeco・DC/外国債券円ヘッジ　優秀ファンド賞
朝日 Nvest グローバル　ボンドオープン（愛称：Avest-B（エーベスト・ビー））

2021 年

◆ R&I ファンド大賞　投資信託 20 年/外国株式ﾊﾞﾘｭ-部門　最優秀ファンド賞
朝日 Nvest グローバル　バリュー株オープン（愛称：Avest-E（エーベスト・イー））

2022 年

◆ R&I ファンド大賞　投資信託 20 年/外国株式ﾊﾞﾘｭ-部門　優秀ファンド賞
朝日 Nvest グローバル　バリュー株オープン（愛称：Avest-E（エーベスト・イー））
◆ R&I ファンド大賞　確定給付年金（伝統資産）/外国株式ﾊﾞﾘｭ-部門
ALAMCO ハリス 年金グローバル バリュー株ファンド 2007（適格機関投資家専用）
◆ R&I ファンド大賞　確定給付年金（伝統資産）/外国債券部門
ALAMCO ルーミス 年金グローバル ボンドファンド 2009（適格機関投資家専用）

【表１】受託資産残高・商品数の推移

		2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末
残高	投資顧問（契約資産残高）	6,055億円	7,960億円	8,455億円
	投資信託（純資産残高）	4,022億円	4,704億円	5,311億円
商品数		114	120	123

（2）資産運用

・スチュワードシップ活動の一環として、企業価値の持続的な向上を目的に投資先企業との対話（エンゲージメント）を積極的に行いました。

・2019 年度 PRI 年次評価の「上場株式（ESG 統合）」部門および「上場株式（アクティブオーナーシップ）」部門において、最高評価である A＋を獲得しました。（「上場株式（ESG 統合）」部門については 2 年連続となります）

・2019 年 11 月に TCFD の提言への賛同を表明し、同コンソーシアムへ入会しました。

・2021 年 4 月から ESG 運用部を新設し、ESG を活用した運用手法の一段の高度化や新商品開発を行うとともに、全社の ESG リテラシーの向上を目指しています。

・2021 年 4～6 月株主総会から四半期毎に利益相反管理先企業を含む全ての個別企業・個別議案毎の議決権行使結果および賛否理由を、当社ホームページにおいて開示し、議決権行使判断の可視性を高めています。

・運用のプロとしての人材育成のため、証券アナリスト資格の取得を奨励しています。（【表２】参照）

【表２】証券アナリスト資格保有者数

当社の日本証券アナリスト協会検定会員は 57 名で、運用業務従事者の 76%、役職員の 48%が資格保有者です。

日本証券アナリスト協会検定会員	57 名
米国 CFA 協会認定証券アナリスト資格	2 名

2022 年 7 月 1 日現在。

６．お客様本位の行動の浸透に向けた取組み

・「お客様本位の業務運営に関する基本方針」に関する役職員向け全体研修を行い、お客様本位の業務運営の浸透につとめています。

以　上